

◆ 第3回熊本地震災害ボランティア活動を、「益城町」において実施。



（【遠賀信用金庫】及び【筑後信用金庫信和会】の有志による記念撮影）

平成28年9月17日(土) 台風16号が接近しつつあるなか晴天に恵まれ、筑後信用金庫信和会は、第20回目の災害ボランティア活動(10名うち女性2名)を熊本県上益城郡益城町にて実施しました。今回は、従来と異なり、同業界の遠賀信用金庫有志6名(うち女性2名)を加えた合同活動となりました。

遠賀信用金庫では、今年7月に有志を募り、益城町にて第1弾(5回、約50名)として活動し、9月には第2弾(4回、約30名)として現在も活動中です。

今回の活動現場は、民間ボランティア団体の福岡市「夢サークル」代表吉水(よしみず)氏及び八女市NPO法人がんばりよるよ星野村代表山口氏のネットワークを通じて依頼者を紹介していただき、益城町木山で活動しました。周辺は、地震から約5ヶ月経過し、来月末避難所が閉鎖されるにも関わらず、倒壊した家屋の処理が進まず、ブルーシートをタープ代わりに利用している家族も見受けられました。

依頼者も、キャンプ用テントを住まいとされており、被災時に日常の品々を急遽詰め込まれた倉庫の整理・片づけ作業を行いました。

その後、依頼者との会話の中で、ブロックなどの撤去処理が進まず、まだまだ支援を必要としている人が周辺にいらっしやることを聞き、支援活動の継続及び民間ボランティアネットワークからの情報収集の必要性・重要性等を肌で感じました。



(集合場所の熊本第一信用金庫益城支店)



(依頼者の住まい及び作業倉庫前)



(共同作業様子)



(共同作業様子)



(共同作業様子)



(共同作業様子)



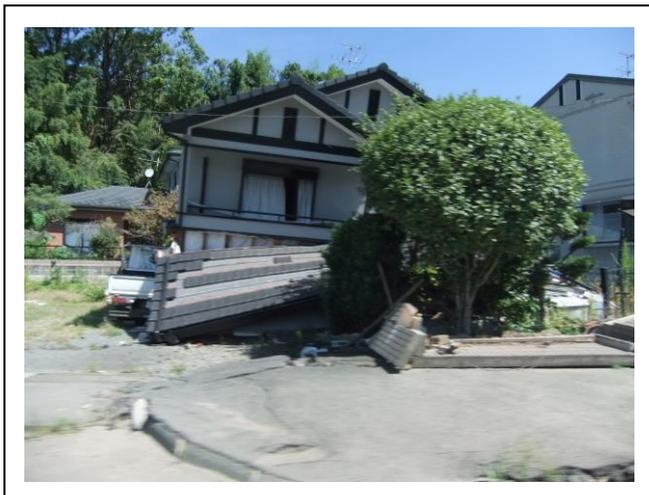
(周辺の様子)



(周辺の様子)



(周辺の様子)



(周辺の様子)



(周辺の様子)



(当金庫有志)

熊本地震から5ヶ月経過した現状です。

皆様、猛暑の中、大変お疲れ様でした。

次回も、ボランティアの輪を広げて一緒に頑張りましょう。